

入場無料

江東区古石場文化センター講座

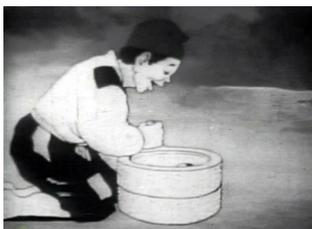
「澤登 翠の弁士にチャレンジ！」 成果発表会

アマチュア弁士の語りをお楽しみください

上映作品

一作品5分程度に編集しています

画像提供：株式会社マツダ映画社



海の水はなぜからい（アニメ）

昔々、強欲な兄と貧しいが正直な弟がいた。ひよんなことから弟がお金持ちになり、兄はそれをねたむ。そして…。兄が招いた出来事で、海がからくなくなったという東北地方伝承の民話。



チャップリンの放浪者

ヴァイオリン弾きのチャーリーは娘に一目ぼれ。だが娘は画家に恋してしまう。それでも彼女を思い続けるチャーリー。彼に真の愛は訪れるのか…？



瞼の母

片岡千恵蔵が主人公の番場の忠太郎を熱演。5歳の時に母と生き別れた忠太郎。大人になり母を探す旅に出る。旅の途中、ヤクザに襲われたり前途多難。苦難の道のりではあっても母を慕う男の物語。



東京行進曲

若き日の溝口健二監督が小唄映画として手掛けた作品。大都会東京を舞台に大富豪の男や芸妓など、愛情や人間関係の物語。

無声映画に説明や台詞を付ける活動写真弁士。その第一人者・澤登翠氏から学んだ受講生が、実際に映画に説明や台詞をつけて発表します。講師が作成した台本を元に受講生が自分流の台本を作成しました。上映する映画はアニメ、時代劇、コメディなど様々。同じ映画でも人によって台詞の付け方も雰囲気も変わります。その違いもお楽しみください。

日時：2024年11月24日（日） 13:00開場 13:30開演

申込：不要。直接会場へお越しください。

会場：江東区古石場文化センター 2階大研修室（地図は裏面）

講師：澤登翠（活動写真弁士） / 弁士：講座「澤登翠の弁士にチャレンジ」受講生

【主催・問合せ】

公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
江東区古石場文化センター

〒135-0045
東京都江東区古石場2-13-2

☎ 03-5620-0224 FAX03-5620-0258



映画が日本に登場したのは19世紀末。当時は音声のない「無声映画」でした。そこで興行として成立させるため、珍しい映写機の説明から映画のストーリーまでを面白く語る「弁士」と呼ばれる説明者が登場しました。弁士は次第に庶民の人気を獲得し、活動写真弁士として日本ならではの話芸として発達しました。無声映画時代の映画館の中は和洋混合の楽隊と弁士の語りで大変にぎやかなものだったといえます。次第にトーキー(映像と音声が一緒になった映画)が普及し、弁士は急速に衰退しましたが、語りによってストーリーを進行させる弁士の魅力は、時代を越えて楽しめるものです。本講座の講師である澤登翠さんは現在活躍する数少ない活動弁士の第一人者です。

◆講座講師：澤登 翠（さわと みどり）



法政大学文学部哲学科卒業。故松田春翠門下。「弁士」の第一人者として、国内をはじめフランス・イタリア・アメリカ他海外にも招聘され高い評価を得ている。洋画、現代劇、時代劇とレパートリーも豊富。これまでに文化庁芸術祭優秀賞、シネマ夢倶楽部賞、文化庁映画賞他を受賞。(株)マツダ映画社が主宰する無声映画鑑賞会での公演を基盤にフィルムセンターや各地の映画祭での公演、大学他での講座、TV番組のナレーション、朗読とその活動は多岐にわたる。2015年、『文藝春秋』掲載の「日本を代表する女性120人」に選出された。

■交通案内

- 東京メトロ東西線「門前仲町駅」
2番出口より徒歩10分（案内図①）
- JR京葉線「越中島駅」
3番出口より徒歩10分（案内図②）
- 東京メトロ東西線「木場駅」
4番出口より徒歩10分（案内図③）
- 都営地下鉄大江戸線「門前仲町駅」
4番出口より徒歩15分（案内図④）
- 都営バス
都07 錦糸町駅前 ⇔ 門前仲町
東22 錦糸町駅前 ⇔ 東京駅北口
「富岡一丁目」下車 徒歩7分

門33 亀戸駅 ⇔ 豊海水産埠頭
「越中島」下車 徒歩10分

